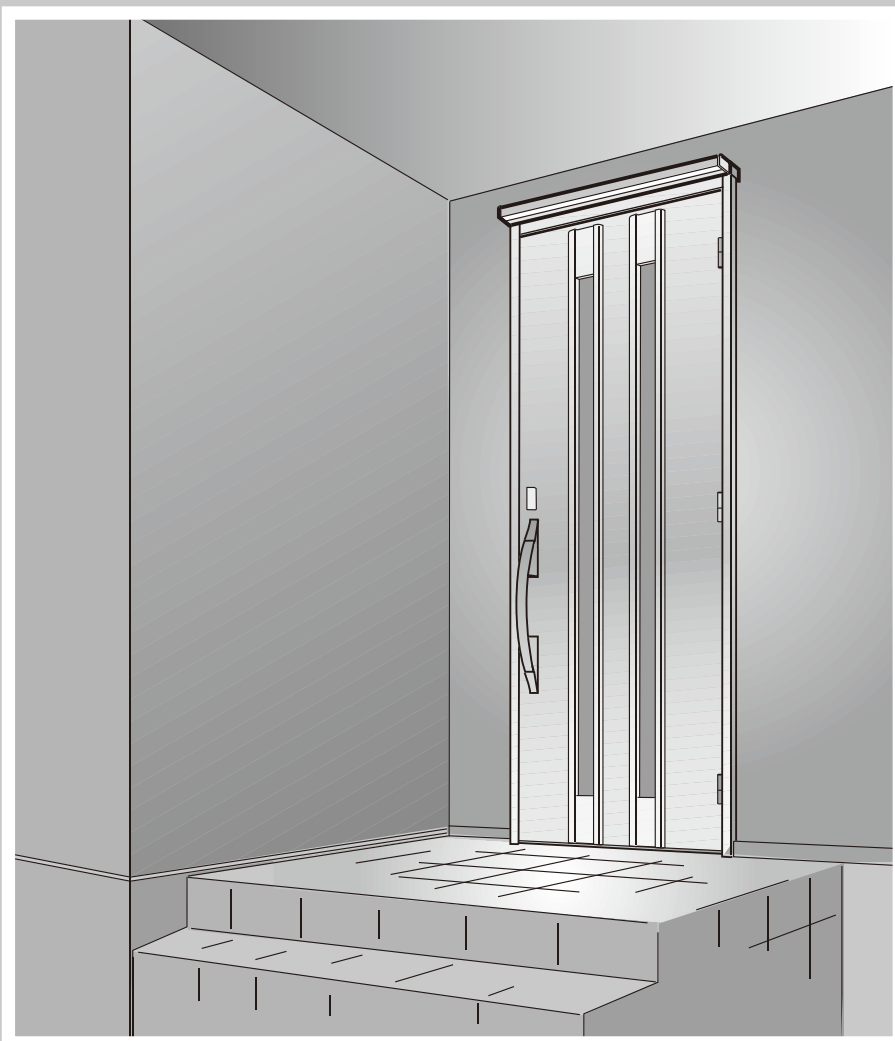


LIXIL

玄関ドア ジエスタ・FG-Eジエスタ専用 玄関ドア上LED照明 壁付け用

施工説明書



施工にあたって

この説明書では、お客様の安全と製品を正しく施工していただくための、組立ておよび取付けについて、重要な内容を記載しております。
ご留意いただき、施工してください。

目次

■警告用語の種類と意味	1
施工される方へのお願い	1
施工上のお願い	1
■使用上の留意事項	2
留意事項	2
停電になったとき	2
■施工上の留意事項	2・3
1.施工上のお願い	2
2.現場手配部品	2
3.必要工具	2
4.設計・施工工程モデル	3
■梱包部材・部品	3
■電気配線・壁スイッチの設置場所の決定	3
■取付ベース材 基本寸法	4
■取付け方法<現場>	5~8
1.補強胴縁の取付け	5
2.配線工事	5
3.取付ベース材の取付け	6
4.電気工事（端子台接続）	6
5.LED照明本体の取付け	7
6.電源ケーブルとLED照明のコネクタ接続	8
7.センサー部カバーの取付け	8
■施工（電源接続）後の動作確認	8・9
1.壁スイッチを入れ通电させる	8
2.付属リモコンを通电させる	8
3.付属リモコンを操作して点滅を確認する	8
4.動作確認	9
■定格	9
■LED照明本体の取外し方法	9

警告用語の種類と意味

※この製品には電源線が含まれています。結線工事は必ず電気工事士免許取得者の方が行ってください。

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

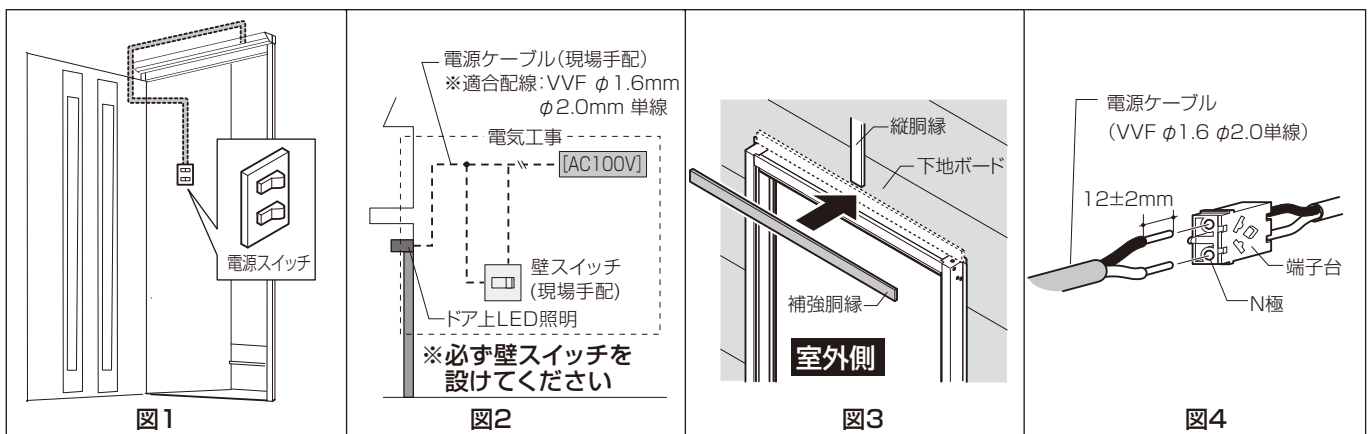
▲警告 …施工を誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

- 交流100Vを機器本体に直接接続する（AC直結式）配線・取付け・結線は、電気工事士の資格が必要です。
- 施工説明書の手順に従って製品を外壁に取付ける際に、ゆるみ・ガタツキがないように確実に行ってください。製品が落下してケガなどをする可能性があります。
- 電源を入れた状態で配線・取付け・結線をしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■施工上のおお願い

- 必ず電源スイッチ（現場手配品）を取付けてください。（図1参照）
- 照明本体の配線の取り回しは、必ず内壁施工前に行ってください。施工後は取付けできなくなります。（図2参照）
- 外壁裏部には補強胴縁を必ず付けてください。（図3参照）
適合する外壁と補強胴縁の総計の厚みは29～36mmとなります。
- 壁からの配線を端子台に差し込む際は電気工事士の資格が必要です。（図4参照）
- 電源ケーブルとLED照明のコネクタ接続の際は、コネクタが結線から外れないように、強い力で引き出さないでください。
- コネクタの接続は、「カチッ」と手ごたえがあるまで差込んでください。差込みが浅いと、作動不良の原因になります。
- 次の場所への設置は避けてください。故障の原因となります。
 - ・温度が上昇するところ（直接暖房熱の当たるところ・ボイラーの近くなど）
 - ・低温になるところ（冷凍倉庫など）
 - ・通気性の悪いところ（水・油・鉄粉・薬品などがかかる場所）
- 端子台は、雨や水に濡れないようにしてください。
- 玄関ドア本体を外す場合は、LED照明本体を一度外してください。
外壁に取付けた取付ベース材は取外し不要です。



使用上の留意事項

■留意事項

- 取付ベース材の色は製品色(ドア枠カラー)となります。
- 本製品は、施工説明書に従って正しく取付けてください。正しく取付けた後のぐらつきは、製品の異常ではありません。
- 本製品に物をぶらさげたり、寄りかかたりしないでください。
- 本製品にホース・バケツ等で水をかけないでください。
- 本製品の使用可能温度範囲は-10℃~60℃です。
- 本製品は精密機器のため、荷扱いおよび取付け時に強い衝撃を与えないでください。外傷が認められなくても内部機器が損傷している場合があります。
- 油などのひどい汚れは、プラスチック用クリーナー・中性洗剤で拭いてください。シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。
- 正常に点灯しない場合、壁スイッチの入切操作により元に戻ることがあります。



■停電になったとき

- LED照明が消灯します。
 - ・現場手配品の壁スイッチの作動有無にかかわらず点灯しません。
 - ・停電になった場合は現場手配品の壁スイッチをOFFにした状態と同じになります。停電復帰後は、停電前の状態に復帰します。

施工上の留意事項

1 施工上のお願い

- 直接雨がかからないように庇や軒下に設置してください。照明本体の取外し交換ができるように、庇や軒下との間隔を100mm以上あけてください。
- 外壁への取付けとなりますので、外壁裏部に補強胴縁を必ず付けてください。補強胴縁がないと落下するおそれがあります。
- 入隅納まりの場合は、照明本体の取外し交換ができるようにドア枠と側面の外壁との間隔を10mm以上あけてください。また、照明本体と側面の外壁のすき間や取付ベース材のエンドキャップ下部にある水抜き穴にはシーリング処理しないでください。
- 取付ける外壁に不陸がある場合はスペーサー(現場手配)などで2mm以内に調整し取付けてください。取付ベース材が歪んでいると照明本体が取付けられなくなります。
- 本製品は後付けできません。事前に電気配線、外壁裏部の補強胴縁の設置などの打合せを行ってください。
 - ①現場搬入の際には確実に施工される方へお渡しください。
 - ②配線工事は、内装工事をする前に必ず電気工事店さまにご依頼ください。
 - ※内装を仕上げる前に配線工事が必要になります。
 - ③取付ベース材の配線引き込み穴位置に合わせ外壁から配線を50cm程度出し、外壁の穴は止水処理してください。(配線引き込み穴は2カ所あり、現場に合わせていづれか一つを選択してください。)
 - ④お客さま・建築関係者と十分打合せをしてください。
 - ※躯体内配線のため、内装工事終了後の変更は難しくなります。
 - ※系統図・配線図を作成し、壁スイッチの取付け位置を決めてください。
- 玄関ドア本体を外す場合は、LED照明本体を一度外す必要があります。(手順詳細 P.9参照)

2 現場手配部品

- 下記の部品を現場手配してください。
 - スイッチボックス (JIS 1個用)
 - 壁スイッチ (電源スイッチ)
 - ケーブル (φ1.6 φ2.0 単線VVFケーブル)

3 必要工具

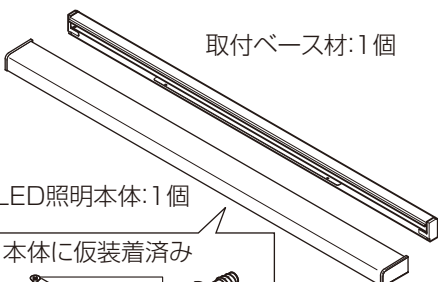
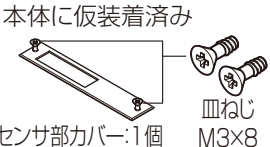

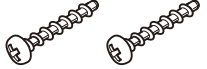
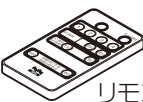


- #2 プラスドライバー (柄の細いもの)
- φ3.5ドリル (補強胴縁下穴用)
- ポンチ (位置出し用)
- シーリング材
- φ4.5ドリル (外壁下穴用)
- ※高トルクドライバー (インパクトなど) を使用しないでください。

4

設計・施工工程モデル

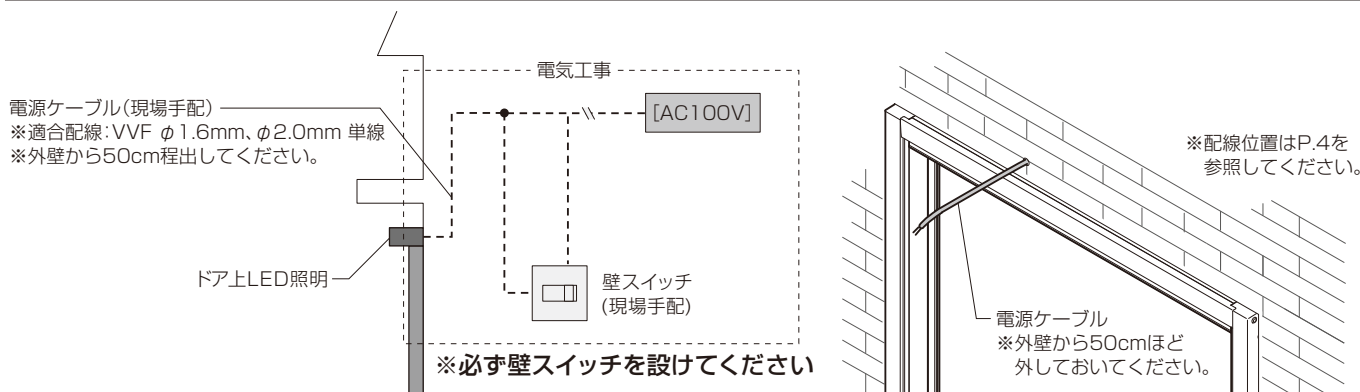
	建築設計	照明取付工程	玄関ドア工程	躯体施工	照明電気工事
現場搬入前	<ul style="list-style-type: none"> ●建築主さまとの打合せ ●電気配線・壁スイッチの設置場所の決定 ●外壁裏部の補強胴縁の設置打合せ 	●ドア枠および照明本体などの現場搬入	●ドア枠の組立て		
現場		3.取付ベース材の取付け 5.LED照明本体の取付け 6.端子台ケーブルとLED照明のコネクタ接続 7.センサー部カバーの取付け ●本紙・リモコン・取扱い説明書の引渡し	●ドア本体の設置	1.補強胴縁の取付け ●外壁取付け	●電気配線工事(屋内配線) 2.電気配線工事(屋外配線) 4.電気工事(端子台接続)
場	●リモコン・取扱い説明書の引渡し				●壁スイッチ取付け ●動作確認 ●完了・部品引渡し

梱包部材・部品

 <p>取付ベース材: 1個</p> <p>LED照明本体: 1個</p> <p>本体に仮装着済み</p>  <p>センサー部カバー: 1個</p> <p>皿ねじ M3×8</p>	 <p>取付用木ねじ(φ4.1×56): 4本(6本)</p>	<p>照明本体取付用部品セット(小袋入り)</p>  <p>プッシュボタン: 2個</p>  <p>LED照明本体固定ナベねじφ4×20: 2本</p>
	 <p>リモコン: 1個</p>	 <p>施工説明書</p>  <p>取扱い説明書</p>

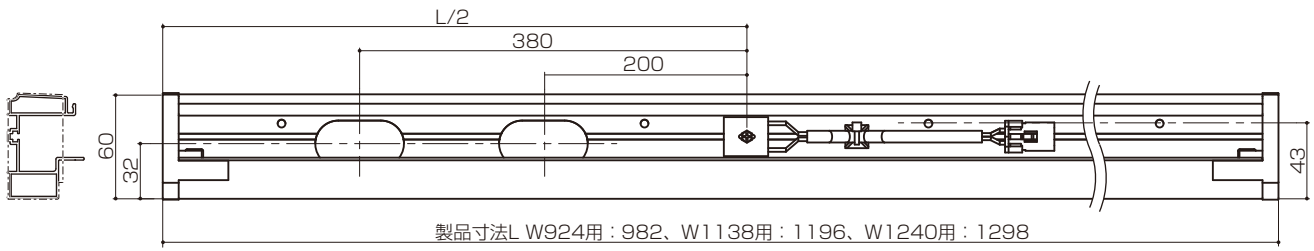
※数量はW924用を示す。()内はW1138用、W1240用の数量を示す。

電気配線・壁スイッチの設置場所の決定

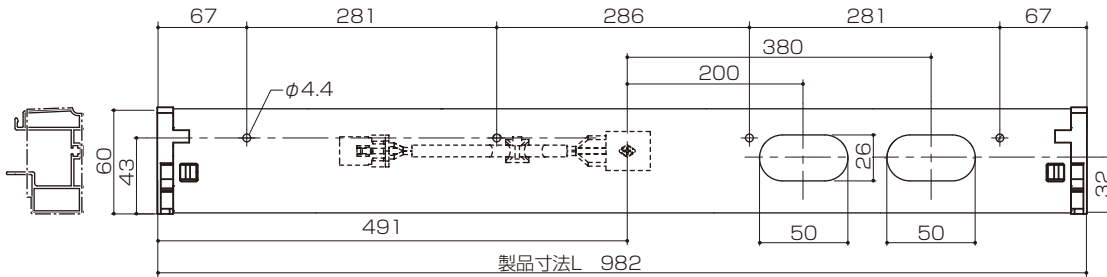


取付ベース材 基本寸法

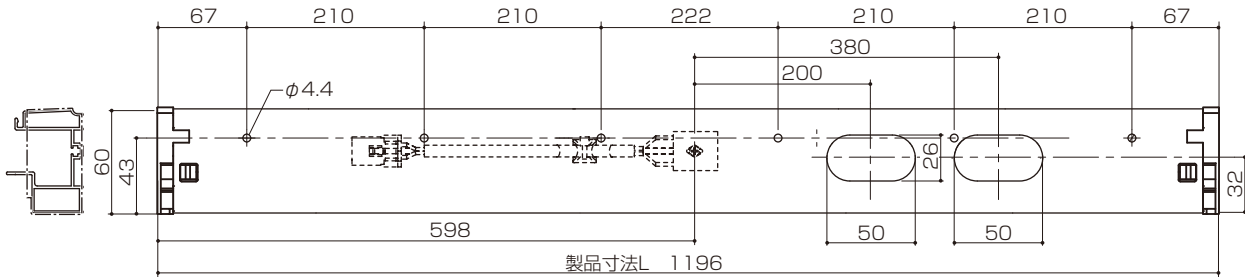
●正面図



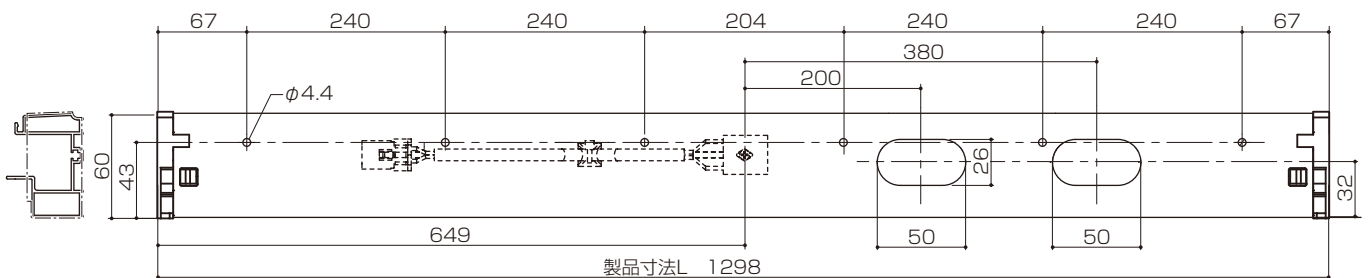
●背面図 片開き W924用



●背面図 親子入隅 W1138用



●背面図 親子 W1240用



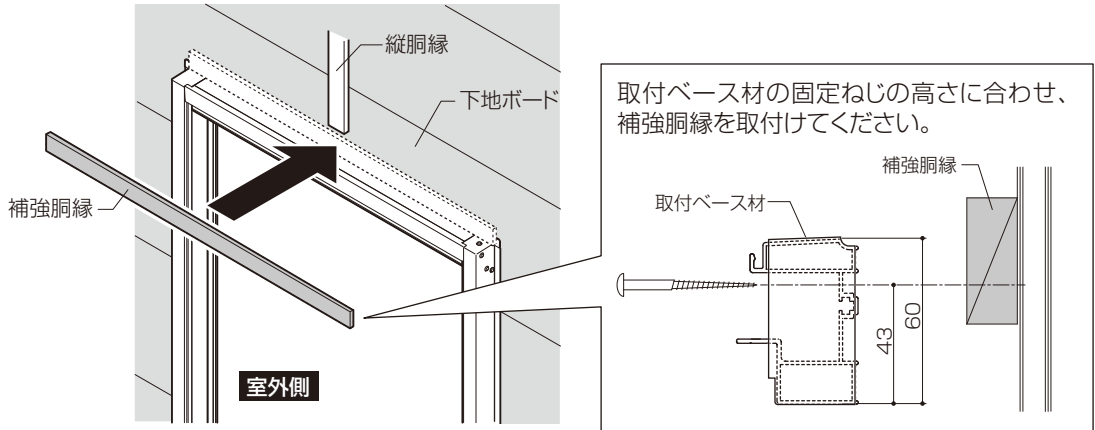
取付け方法<現場>

■ドア本体の設置

- ドア枠の取付け、ドア本体の吊込み、建付け調整を取付け説明書に従って行ってください。

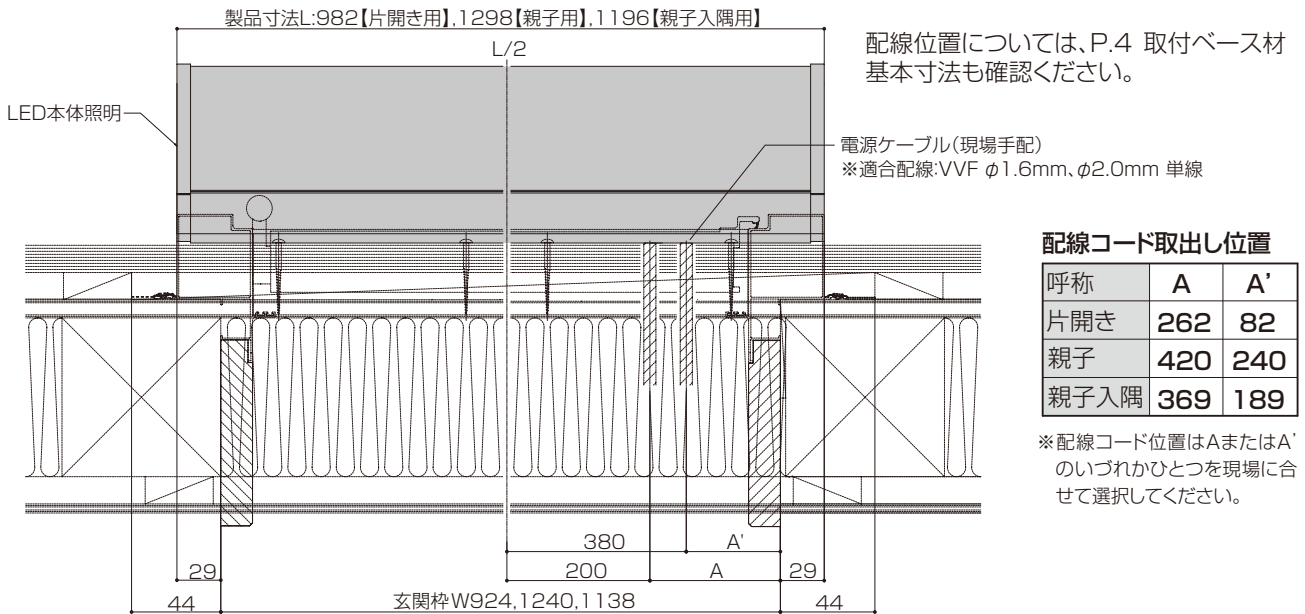
1 補強胴縁の取付け

- ① 補強胴縁を躯体に取付けてください。

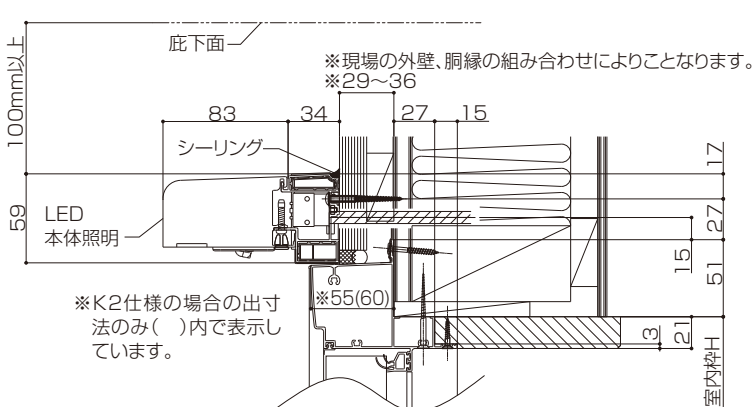


2 配線工事

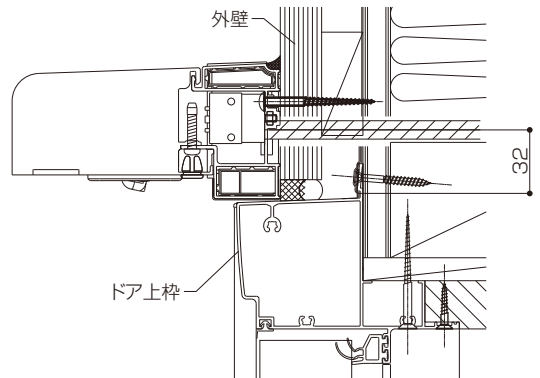
- ※ 外壁からのケーブルの出口は、下図の通りです。



横断面図 図2-1



縦断面図 図2-2



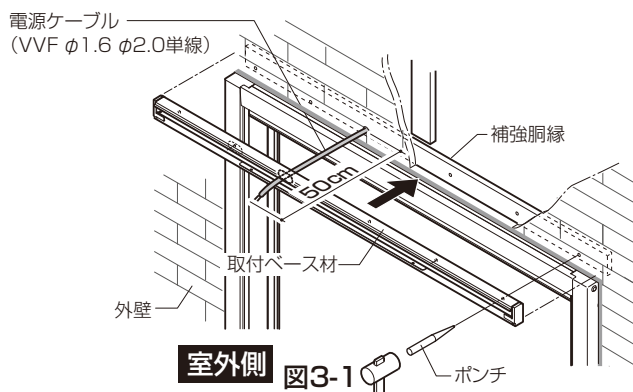
※ ドア上枠上面から32mmに電源ケーブルがくるよう外壁から出してください。

3

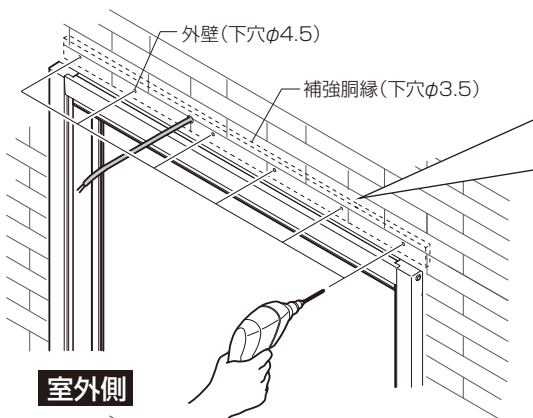
取付ベース材の取付け

※取付ける外壁に不陸がある場合は、スペーサー（現場手配）などで2mm以内になるように調整し取付けてください。取付ベース材が歪んでいると照明本体が取付けられなくなります。

- ①外壁から電源ケーブルが50cm程度出ていることを確認してください。(図3-1)
- ②取付ベース材に電源ケーブルを引込み、設置する位置に合わせ、外壁に押し当てて、ねじ穴の中心がズレないように、ポンチで位置出しをしてください。(図3-1)
- ③取付ベース材を一旦外して、外壁にφ4.5の下穴をあけてください。(図3-2)
- ④つづけて、あけた外壁の下穴中心に補強胴縁へφ3.5の下穴をあけてください。(図3-3)
- ⑤外壁と補強胴縁にあけた下穴にシーリング材を塗布してください。(図3-4)
- ⑥取付ベース材を設置する位置に当て、外壁に取付用木ねじ(φ4.1×56)で取付けてください。(図3-5)



室外側 図3-1



室外側

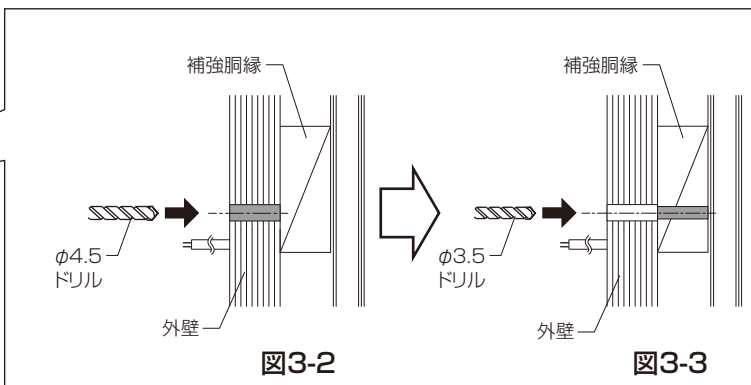
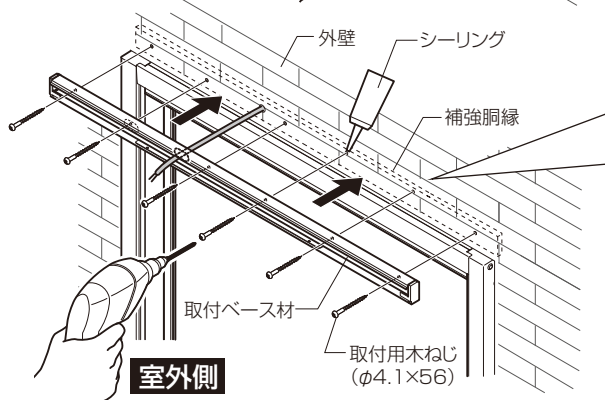


図3-2

図3-3



室外側

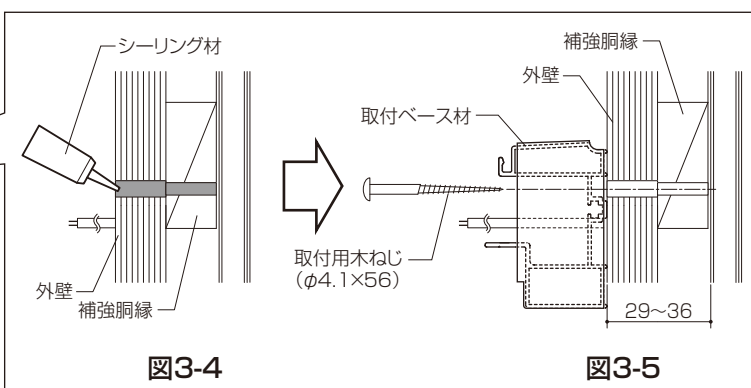


図3-4

図3-5

4

電気工事(端子台接続)

- ①取付ベース材の上面のみマスキングをし、プライマーを塗ってからシーリング材を塗布してください。(図4-1) ただし、取付ベース材のエンドキャップ下部に水抜き穴がありますので塞がないように注意してください。(図4-2)
 - ②電源ケーブルを適切な長さに調整し、端子台に接続してください。(電気工事の資格が必要です)(図4-3)
- ※端子台は、雨や水に濡れないようにしてください。

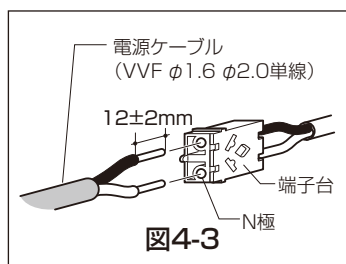
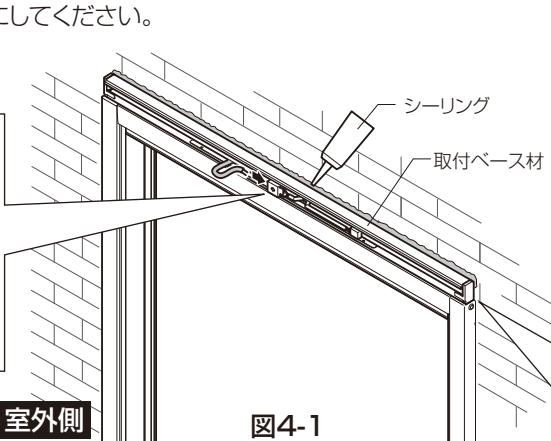


図4-3



室外側

図4-1

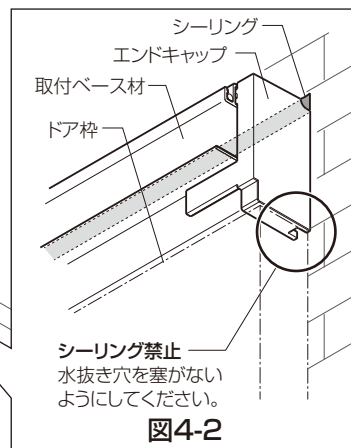


図4-2

5

LED照明本体の取付け

- 設置した取付ベース材にLED照明本体を取付けてください。
- ※ドア枠と穴が近い場合は、柄の細いドライバーを使用してください。

1 センサ部カバーの取外し

- LED照明本体に取付いているセンサ部カバー取付ねじを緩めて、センサ部カバーを外してください。
- ※センサー部カバー取付ねじは軽く緩めながら、紛失することがないように注意してください。

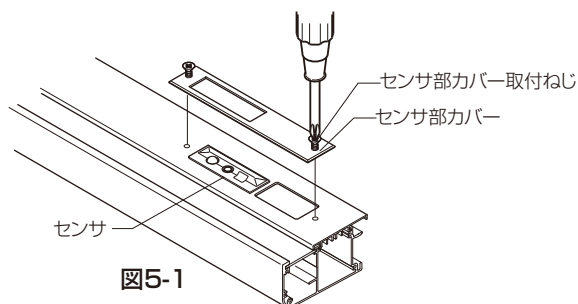


図5-1

2 コネクタをLED照明本体へ通す

- ドア本体を開けた状態で行ってください。
- ①コネクタ付電源ケーブルのコネクタからキャップを取外してください。(図5-2参照)
- ②コネクタ付電源ケーブルのコネクタ先端部をLED照明本体背面から入れ、開口穴部からコネクタ先端が出るようにしてください。(図5-3参照)

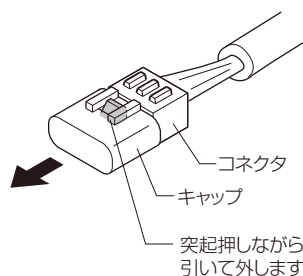


図5-2

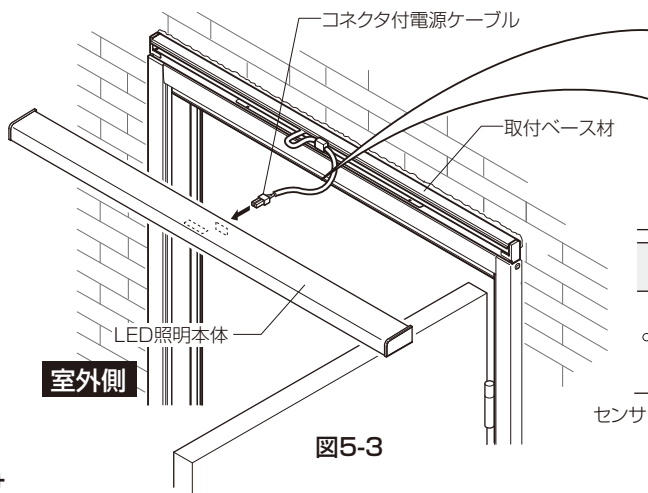
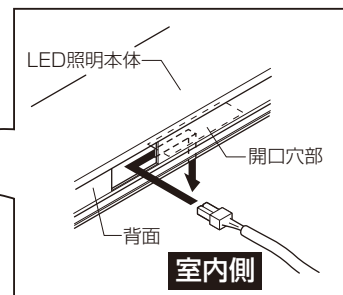
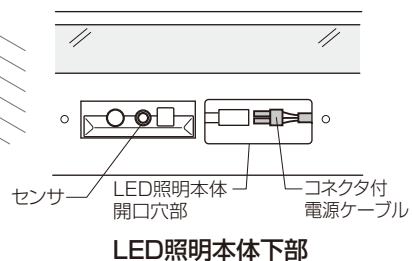


図5-3



室内側



LED照明本体下部

3 LED照明本体の取付け

- ①コネクタ付電源ケーブルを引き出しながらLED照明本体を取付ベース材に上から引っ掛け、左右均等になるようにして、LED照明本体固定ねじ・プッシュボタンで取付けてください。(図5-4参照)
- ※LED照明本体を上から手で押えた状態でねじ固定してください。(図5-5参照)
- 押えが弱いと、照明が浮いた状態で取付くことがあります。
- ②取付け後に、取付ベース材と照明本体の上面に段差(高低差)がないことを確認してください。(図5-6参照)
- 段差がある場合は、コネクタ付電源ケーブルが干渉してる可能性がありますのでLED照明本体を一旦外して、再度、取付け直してください。

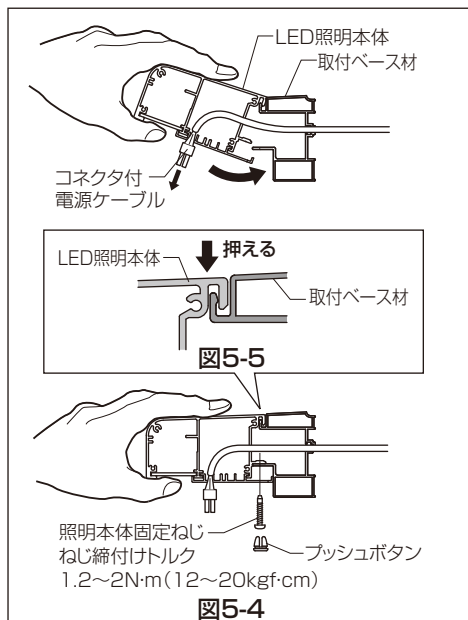


図5-4

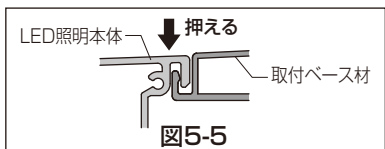


図5-5

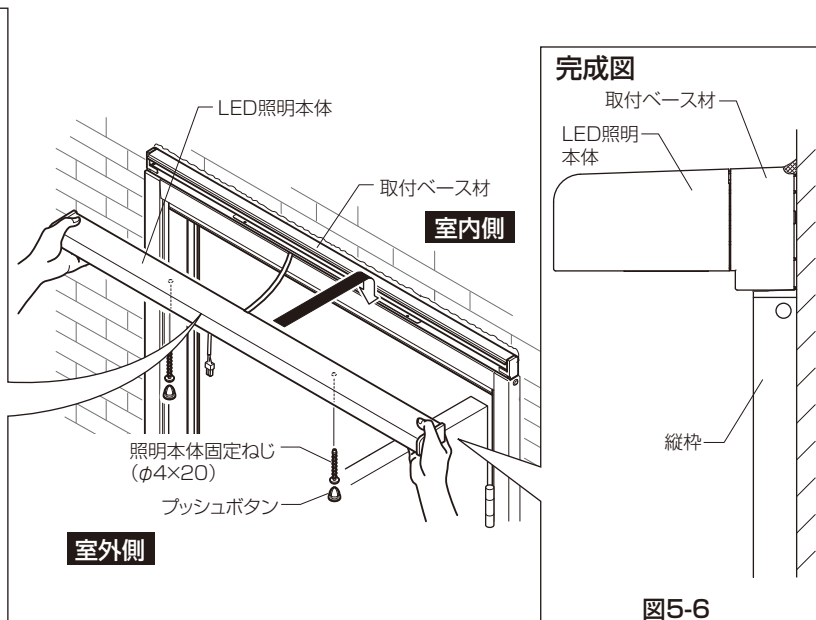


図5-6

6

電源ケーブルとLED照明のコネクタ接続

- ①開口穴からコネクタを引き出してください。
※コネクタを強く引き出さないでください。結線が断線する場合があります。
- ②LED照明側コネクタと電源ケーブル側コネクタを「カチッ」と手応えがあるまで差込んで接続してください。
- ③コネクタによるケーブル接続を行った後に、開口穴に押し込んでください。
※この時に無理に押し込まないでください。
※入らない場合は、電源ケーブルが正しく装着されていない可能性がありますので照明本体を一旦外して、再度、取付け直ししてください。

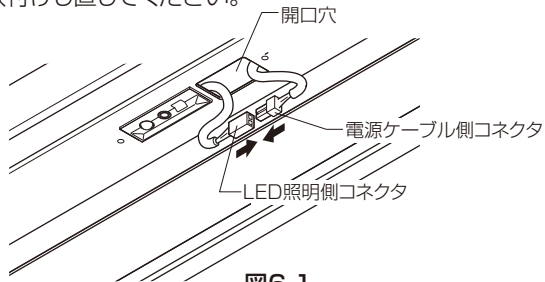


図6-1

7

センサ部カバーの取付け

- 最後にセンサ部カバーを取付けてください。
※ねじの締付けトルクは0.5～1N・m(5～10kgf・cm)で行ってください。

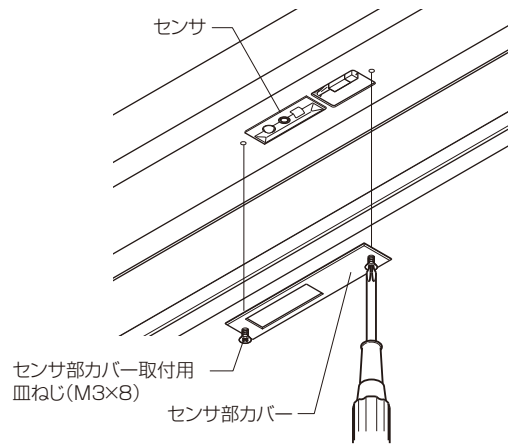


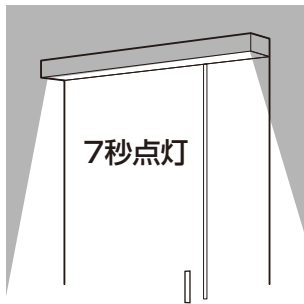
図7-1

施工(電源接続)後の動作確認

1

壁スイッチを入れ通电させる

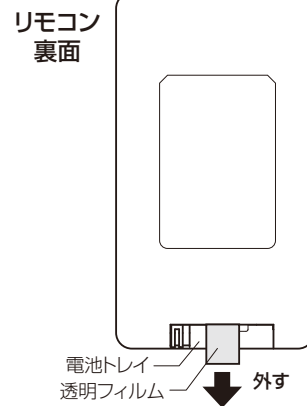
- ①壁スイッチを入にしてください。
- ②同時に照明が点灯し、7秒後に消灯します。
※通电の都度、動作確認のため自動点灯する機能になっております。



2

付属リモコンを通电させる

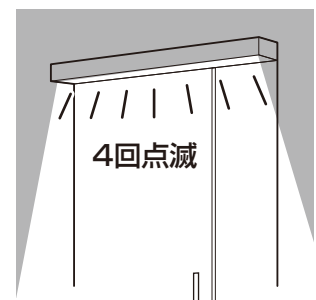
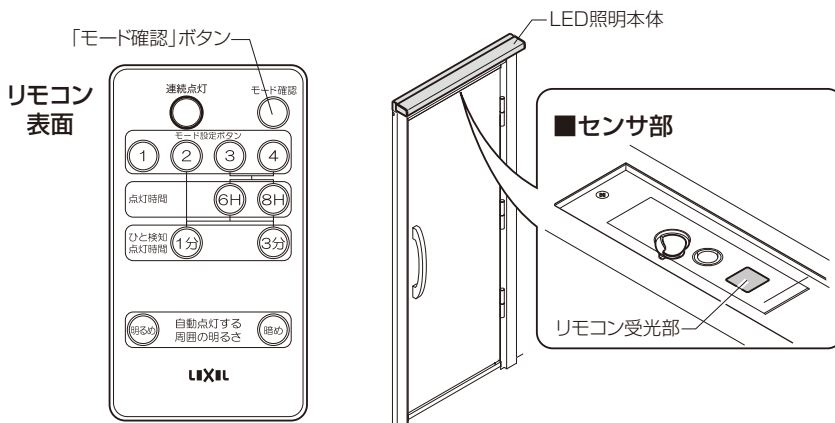
- リモコンを裏返し、電池トレイ部にある透明フィルムを外します。



3

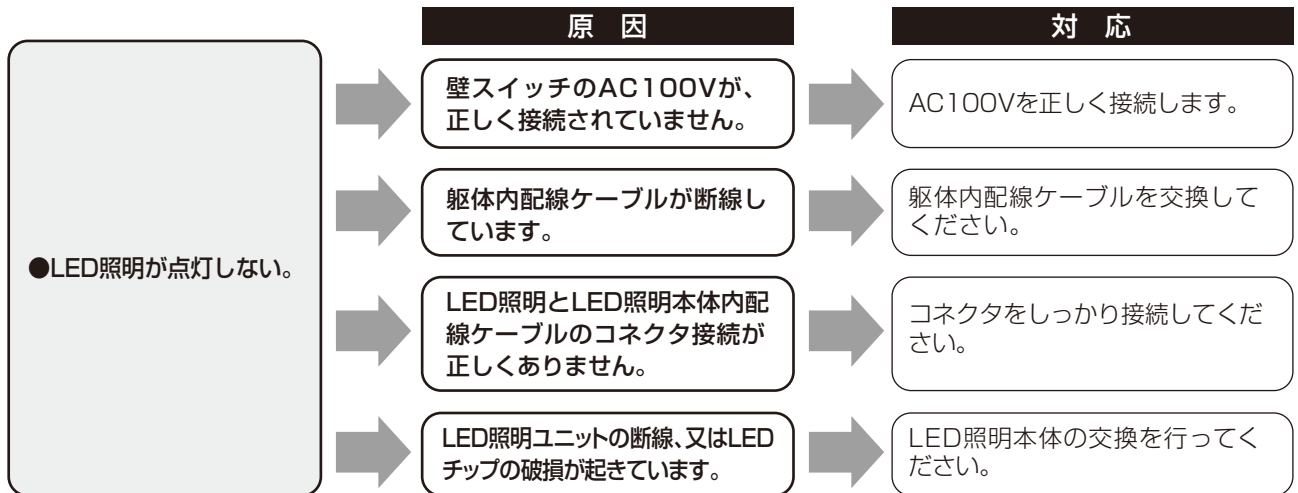
付属リモコンを操作して点滅を確認する

- ①リモコンをリモコン受光部に向けて「モード確認」ボタンを押します。
- ②照明が1回点滅します。(初期出荷時はモード4に設定のため4回点滅します)



4

動作確認



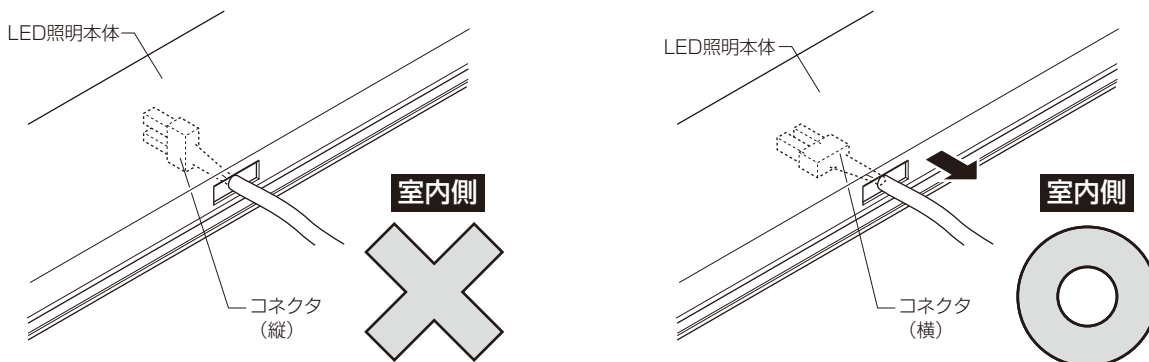
定格

仕様

光源	LED
色温度	電球色 (2700K)
演色性	Ra83
消費電力	10.0W (W924用) 、 10.3W (W1138用) 、 13.5W (W1240用)
入力電流	0.10A (W924用) 、 0.11A (W1138用) 、 0.14A (W1240用)
材質	本体：アルミ、発光部カバー：アクリル エンドキャップ：AES樹脂
光源寿命	40,000時間 (光束維持率70%)
固有エネルギー消費効率	19.0 lm/W (190 lm) (W924用) 21.6 lm/W (222 lm) (W1138用) 18.8 lm/W (254 lm) (W1240用)
定格電圧	AC100V (50/60 Hz)

LED照明本体の取外し方法

- ※LED照明本体を外す場合は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
- ※手順は取付けした手順と逆の手順で (P.7・8 作業手順 No.7→6→5参照)
- ※取外す場合は、コネクタを横向きにして引出してください。穴の中でコネクタが縦になっていると引き出せません。強い力で引き出さないでください。結線が断線する場合があります。



- ※照明本体固定ねじを外す場合は、本体の上を押えながらねじを外してください。本体が取付材から外れてしまう可能性があります。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 (ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

- 旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は
旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 (祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

- 商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

取説番号 MAM-786A	事業所コード AXU6	2023.3.31発行
---------------	-------------	-------------

